

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2019-06-01

No. 109



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: CISPR 11 Ed. 6.0 (2019-01) 修正 2 ISM 用機器 - 限度値及び測定方法(2/2)	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	9
UNECE: 車両規制整合化のための世界フォーラム 第 177 回セッション報告書(2/2).....	10
国際テーマ: IECCE/CB スキーム統計	13
国際テーマ: インドの通信機器認証ニュース	13
国際テーマ: オマーンでの GSO 通知機関会議のハイライト	14
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14
USA: FCC: KDB: TCB の機器認可前に、どのデバイスに関して FCC のガイダンスが必要か.	15
USA: FCC: Theia 社の衛星コンステレーションに対する FCC の認可	17
USA: CPSC: ウォークビハインド型電動芝刈り機の安全基準の改正を求める請願.....	18
USA: FDA: 米国食品医薬品局 (FDA) がレーザー製品に関する通達 No. 56 を正式発行.....	18
USA: FTC: エネルギーラベリング通知: CFR:16 CFR 305 の製品分類法等改定	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: IEEE: 新規格リスト	23
EU,UK: UK 政府による注意喚起文書: EU 離脱に向けてあなたのビジネスや組織を準備する ..	25
EU: LVD:RED: 携帯電話用共通充電器への取り組み再開に対する意見募集	25
EU: EC 型式承認プロトコル No 5 : 電子レンジ対応玩具 Rev 1 が発行された	27
EU: モータ車両: 欧州委員会規制 2019/543 発行: 指令 2007/46/EC と規制 No 661/2009 を改正28	
EU: 医療機器指令ページに、機器登録に関する解釈文書二件が掲載	30
EU: 医療機器、体外診断用医療機器規制 (EU) 2017/745、2017/746 への正誤表発表	30
EU: CENELEC: 新規格リスト	31
EU: ETSI: 新規格リスト	33
オーストラリア: 製品供給と法令遵守: ACMA の規制要件を確認する 6 つの手順(6/7).....	34
ニュージーランド: 22.000 - 26.625 GHz で作動する車両用近距離レーダ機器使用禁止	35
中国: SAMR: 強制性製品認証の要求事項を明確に免除することに関する市場監管総局通知 ..	36
中国: CQC: パワーエレクトロニクスコンデンサの認証規則の改訂に関する通知	37
中国: CQC: 電気自動車用非車載充電器及び電気自動車用交流充電スタンドの認証規則改訂 ..	37
中国: CQC: 自動車製品の強制認証基準の調整に関する通知	37
中国: CQC: 一般照明用の安定器内蔵型非指向性 LED ランプの省エネ認証基準	38
中国: 新規格リスト	38
台湾: 一定の装置容量以上の太陽光発電設備を改正し、即日発効	39
台湾: 台湾高効率太陽光発電モジュール技術規範の改正を通知し、即日発効.....	39
台湾: 太陽光発電システムの結晶化試験及び薄膜モジュールの自主的製品検証の実施	39
台湾: 新規格リスト	40
韓国: 放送通信機資材などの適合性評価に関する告示の一部改正案行政予告通知.....	40
韓国: 安全認証機関、安全確認試験機関の業務遂行の範囲の変更 (韓国産業技術試験院) ...	41
総務省: デジタルコードレス電話の無線局の高度化に係る技術的条件の検討提案募集.....	41
総務省: 次世代高効率無線 LAN の導入に向けた制度整備一スループットの改善: 意見募集 ..	42
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) を制定・改正しました (2019 年 5 月分)	42
経済産業省: 計量単位令の一部を改正する政令が閣議決定された: キログラム、アンペア等 ..	43
経済産業省: 日本発の部分的自動車駐車システムに関する国際標準 ISO20900 発行	43
国土交通省: UNECE: チャイルドシートの取り付けに関する警告ラベルの図柄が統一	43
国土交通省: 世界初! プラグインハイブリッド大型車の評価装置を開発!	44
厚生労働省: コスモス社: 医療機器認証製品カテゴリ追加のご案内	44
ちよっといっぷく~小クイズコーナー 米国 FDA の Laser Notice について	14
コスモス・コーポレーション: 塩水噴霧試験	24
社長の独り言	45



IEC: 規格解説: CISPR 11 Ed. 6.0 (2019-01) 修正 2 ISM 用機器 - 限度値及び測定方法(2/2)

「CISPR 11 Ed. 6.0 (2019-01) 修正 2 工業用、科学用および医療用機器 - 無線周波数妨害特性 - 限度値及び測定方法」が 2019-1 付けで発行された。主な内容の後半部分である。

- グループ 1 機器の LV DC 電源ポートの伝導妨害限度値、及び伝導妨害測定対象の拡大
- 放射測定 (1 GHz - 18 GHz) 手順における変更

UNECE: 車両規制整合化のための世界フォーラム 第 177 回セッション報告書(2/2)

車両規制整合化のための世界フォーラム 第 177 回セッション ジュネーブ、2019 年 3 月 12 日～15 日 本会議の報告書から後半部分のトピックスを紹介する

- 世界フォーラム UNECE は、以下の新しい国連規制の提案を検討:
 - 自転車検知のための死角情報システム、光信号装置 (LSD)、道路照明装置 (RID)、及び、レトロリフレクター(再帰反射器再帰反射)デバイス (RRD) に関するもの
- 既存の国連規制の改正と修正、及び上記の新しい国連規制の提案は:
 - 1958 年合意のスケジュール 4 の修正案に纏められている。
- 新しい国連 GTR、及び既存国連 GTR への修正の開発に関する進捗状況
 - 下記各項に関し概要を紹介する
 - F. 国連 GTR 第 13 号 (水素燃料電池車 (HFCV) - フェーズ 2)
 - G. 国連 GTR 第 15 号 (全世界整合化軽車両試験手順 (WLTP) - フェーズ 2)
 - 国連 GTR 第 15 号の国連規制への置き換えに関する作業は、レベル 2 と呼ばれる相互承認の対象となる整合化した規定の決定に焦点を当てて作業が進行中
 - I. 電気車両安全 (EVS) に関する国連 GTR 第 20 号
 - J. 静粛道路輸送車両に関する国連 GTR の草案 (QRTV)
 - K. 全世界実走行排出量に関する国連 GTR の草案 (GRDE) 等

USA: FCC: KDB: TCB の機器認可前に、どのデバイスに関して FCC のガイダンスが必要か

- 今改定の主要変更は、PAG (事前承認ガイダンス) の再利用の許容を追加したことである。

EU: LVD: RED: 携帯電話用共通充電器への取り組み再開に対する意見募集

- 本規則は、携帯電話やその他の類似の機器の充電器を標準化する。そのことは、消費者に利益をもたらし、電子廃棄物を制限することにつながる。
- 充電器の互換性は廃棄物削減には良い方向であるが、製造会社の独自性に任せたいという考えもある。意見募集を行う。

EU: EC 型式承認プロトコル No 5 : 電子レンジ対応玩具 Rev 1 が発行された

- 玩具安全指令 Web サイトの指令 2009/48/EC のもとでの推奨及びプロトコル項で「EC 型式承認プロトコル No 5 : 電子レンジ対応玩具 (Rev 1)」が発行された。

中国: SAMR: 強制性製品認証の要求事項を明確に免除することに関する市場監督総局通知

- 以下に挙げるもの等は強制性製品認証が免除される
 - (一) 科学研究、試験および認証用試験製品およびサンプル。
 - (二) 直接エンドユーザーの修理目的に必要な部品/製品。
 - (三) 工場生産ライン/セット生産ラインに必要な設備/部品 (事務用品を除く)

社長の独り言

令和元年 5 月 10 日
濱口 慶一

桜の花も若葉に変わり、夏らしくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？

趣味の日本蜜蜂の養蜂も、自宅の玄関わきに設置した 1 箱に分蜂群が入ってくれて、現在盛んに仲間を増やし、蜜集めに朝早くから出かけています。丁度この時期、ツバメが子孫を増やすために子育てをしますが、雛たちは親鳥のように広い地域を飛び回れないので、自分達の巣の近くで親鳥が餌を確保することになります。しかし、折角入ってくれた日本蜜蜂がツバメの格好の餌となってしまいました。分蜂群の次の巣箱への移動中に、大きい女王蜂は動きが悪いために特に狙われました。このため、分蜂群が 1 か月位すると自然に消失（女王蜂がいないので子孫が増えない）してしまいます。幸福の使いとして人家に巣をつくり、外敵のカラスなどから子供たちを守るツバメ達の通常の営みと私の接点がこういう風になってしまうと、ちょっとツバメにも敵意をもってしまいます。自然の摂理と理解すべきでしょうね。

元号が令和に変わりましたが、弊社は来期（令和元年 7 月 1 日）で創立 33 年目を迎えようとしています。

元号が変わったからというわけではないですが、弊社もさらに会社として良い方向に向かえるよう、社内のさらなる改善に努めたいと考えています。その一つが働き方改革です。1 日 8 時間の勤務の中で 1 秒を大切に切り詰め、業務プロセスを改良改善し、業務を成功裏に完結させるために必要な手順を完成して、少しでも短納期で確実な成果を出せるプロセスを関係者スタッフが全力で考え、判断して実施することが求められると思います。

製品、プロセス及びサービスの認証を行う機関に対する要求事項、ISO/IEC 17065: 2012 の 6.1 項「認証機関の要員」には、認証プロセスに関与する要員の力量のマネジメントが規定されています。認証機関として、力量の基準の設定、教育訓練プログラムの提供、必要な力量の実証、要員の承認、要員のパフォーマンスの監視といったことが求められます。弊社は電気用品安全法の登録検査機関などに加え、弊社独自の認証である CSC 認証スキームを運営する機関として、この力量に関する要求事項を重要と考えており、なお一層信頼いただける認証を提供できるよう、努力していきたいと思えます。

引き続き、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	MLIT: Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism	国土交通省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2019-06-01 (No. 109)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <http://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2019 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。